

孤立した若者に

24時間相談窓口

根岸、緊急宿泊場所も

仕事もなく、社会から孤立した若者向けの終夜相談窓口「にこまる24h」が、横浜市磯子区に誕生した。緊急避難先の宿泊場所も用意し、引きこもり経験があるスタッフが気持ちにより添う。

合宿型の若者自立支援塾などを経営する「K2インター」を運営する「ショナルジャパン」と横浜市の協働事業。市は、国の負

困支援のモデル事業「パーソナル・サポート・サービス」制度を活用し、今年度と来年度で計約8800万円を提供する予定だ。

同社の様々なサービスの利用者は、大半が昼夜逆転の生活。家庭が複雑で生活の立て直しが難しい人も多かったという。統括責任者の岩本真実さんは、「深夜も対応できる窓

口と、緊急に寝泊まりできる場が必要だと感じた。支援を受けた若者が、他の人を助ける側に回ることも示したかった」と話す。

そこでJR根岸駅そばの「にこまる食堂本店」内に24時間明かりをともす相談窓口を作り、夜10時から朝8時まで約20人の元塾生が交代で詰める態勢をつくった。ま

た、近くに2DKを2部屋確保し、最大8人を受け入れる。

スタッフの一人渥美形彥さん(29)は、かつて引きこもっていた時も人目が少ない夜なに外出できた。「一步を踏み出せた自分たちだから、相談相手になりたい」と話す。

縁社会を生き抜くための課題を話し合う予定。無料。参加申し込みは同社(045・500・0039)へ。

(織井優佳)